

住民自治協議会だより

第39号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876
長野市大字山田中2545TEL 026-229-1511 FAX 026-229-2074
E-mail otagiri-jitikyoku@ngn.janis.or.jp

令和6年度 小田切住民自治協議会総会

4月19日開催

事業計画

住自協全体

- ・地域支え合い事業「お互助っ人」の推進
- ・川後線廃止に伴う乗合タクシー「かつら号」対応
予約業務と利用促進支援
- ・福祉自動車の運営支援
- ・第4回小田切夏まつりの開催
- ・小田切八景切り絵展の開催
- ・講演会など地区全体集いの開催
- ・地域間交流事業の実施
- ・長野翔和学園との協働事業
- ・住自協だより発行

総務・安全防災部会

- ・総合自主防災訓練の実施
- ・防災体制検討の地区立体模型活用
- ・やまざと支援交付金事業、道路愛護活動
- ・明るい選挙推進と期日前投票の支援

福祉・健康部会

- ・「第3次小田切地区地域福祉活動計画」の推進
- ・福祉委員会及び保健補導員会活動
高齢者の集い、喜寿祝賀会、健康講習会など
- ・サロン事業、福祉懇談会の推進
- ・民生委員児童委員活動
- ・招寿会（老ク）・交流センター協働の健康講座

環境・地域活性化部会

- ・環境整備・美化活動推進及びゴミ集積所整備
- ・農作物の有害鳥獣対策
- ・地域活性化事業、観光推進事業の展開
- ・山里整備隊協働の環境整備、文化財保存支援

教育・文化部会

- ・地公連、交流センター連携の各種行事の推進
萬経学級、スポーツ大会、世代間交流など
- ・社明運動、人権啓発活動など住民集会の開催

団体名変更

「青少年子ども育成協議会」→「こども育成会」

「小田切老人クラブ」→「小田切招寿会」

住自協会長挨拶

皆さんこんにちは、4月に開催された小田切地区住民自治協議会総会に於いて昨年に引き続き会長の大役に推挙頂きました裾花区の竹内勝です。「小田切を元気に」を合言葉に微力ではありますが、皆様のご指導ご鞭撻のもと職責を全うして行く所存であります。

さて、昨年度は計画した事業はアフターコロナということもあり、盛大に実施出来たと思います。新年度事業につきましても、取り巻く環境の変化および過疎高齢化から派生する課題は尽きませんが新役員さんと共に臆せず創意工夫しながら対応していく所存であります。最後になりますが小田切地区の皆様の清祥とご多幸をお祈り申し上げます。



竹内 勝

交流センター所長挨拶

4月1日より、小田切交流センターの所長として着任しました小笠原幹夫と申します。

私事になりますが、小田切は昔鎌成センターの「小学生の自然に親しむ会」のお手伝いや、ライフワークにしているトンボをはじめとした生き物の観察の場にもさせていただき、大変お世話になっています。人も自然も豊かなこの地で頑張って取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

交流センターは、地域の皆様の交流や様々な活動、そして学びの場です。多くの皆様、気軽にご来館、ご利用ください。



小笠原幹夫

人事異動

●小田切支所

転入	支所長補佐（国保・高齢者医療課長補佐）	松本 文彦
	消防専門員（松代署副署長）	北村 貞世
	主 査（篠ノ井支所主査）	小田切正信
転出	地域包括ケア推進課長補佐（支所長補佐）	高山 則行
	森林いのしか対策課係長（係長）	西山 秀一

●小田切交流センター

転入	専門員（資源再生センター所長）	細井 秀人
新任	所 長	小笠原幹夫
	職 員	青木 文子
転出	大岡公民館係長（係長）	川俣 徳晃
退任	所 長	広川 芳守
	職 員	竹元 直美

令和6年度 一般会計収支予算

<収入>

公的補助金	地域いきいき運営交付金	5,599,000
	補助金等	1,670,000
負担金	各区負担金	1,000,000
	団体負担金等	121,000
繰入金	歴史資料室会計	87,057
雑収入	寄付金等	75,046
繰越金	前年度繰越	1,659,897
収入合計		10,212,000円

<支出>

事業費	総務・安全防災部会	970,000
	福祉・健康部会	2,554,000
	環境・地域活性化部会	767,000
	教育・文化部会	1,023,000
運営費	事務局費	4,125,000
配分・委託費	各区配分、団体補助等	380,000
繰出金	福祉自動車等	220,000
予備費		173,000
支出合計		10,212,000円



6年度住自協役員



区長会

青少年子ども育成協議会を再編

総会で対象年齢層の減少が続く中組織を見直し、名称を「子ども育成会」とし地公連が役員を兼務、予算と事業は「萬綏学級」の世代間交流で行います。

小田切八景切り絵展

9月長野県立美術館

今年も「小田切八景切り絵展」を県立美術館で開催します。期間は9月13日(金)から17日(火)、会場は本館地下「しのギャラリーA」で入場無料です。

川後線バス 「西裾花台団地線」で運行開始

川後線バスは4月1日から「西裾花台団地線」に路線名が変わり運行しています。廃止されるバス停留所9か所はかつら号停留所として新たに設置し、滝屋バス停は地区外のため廃止となりました。



祝喜寿



令和5年度 喜寿祝賀会

喜寿祝賀会は3月1日、「鬼無里の湯」で開催しました。対象は昭和21年4月2日以降生まれの学年度男5名、女10名の15名で、5年ぶりに小田切を離れての開催に4名が参加、久々の祝宴や「長野マジッククラブ」の2名によるマジックショーがお祝いの席を盛り上げてくれました。今年も記念品として置き時計を贈りました。

市天然記念物 春の降雪被害

市天然記念物の「巡礼桜」と「国見イチイ」が春先特有の湿った重い雪で着雪被害があり、巡礼桜は3月1日東側の太い幹が根元から倒れ、幹はかなり腐朽していました。イチイも3月6日に枝折れ被害がありました。



巡礼桜(剪定後)



イチイ

福祉自動車「ふれあい号」 運行状況

福祉自動車「ふれあい号」は、小田切の移動支援のひとつで自宅から病院まで運転協力員7人のみなさんで送迎しています。利用には社会福祉協議会への登録が必要です。詳細は地域たすけあい事業コーディネーターにお問い合わせください。

令和5年夏から利用者が大幅に増加しています。

「ふれあい号」利用実績（R4・5年度）



小田切小学校の歴史「萬綏学校」開校150年

小田切小学校は明治7年（1874年）7月1日、小淵の三福寺に「萬綏学校」が開校して150年となります。萬綏学校は塩生学校、日向学校、小田切尋常高等小学校などを経て、昭和22年（1947年）4月川後に小田切小学校と中学校が開校しました。小学校は平成9年（1997年）3月、123年の歴史をもって閉校、中学校も翌年3月閉校しました。

今は小田切交流センターが開催する講座を「萬綏学級」としてその志を受け継いでいます。



住民自治リフレッシュプロジェクト スタート

市と住自協は住民と行政の協働によるまちづくりの仕組み見直しを、今年度から3年間のロードマップで進めます。双方の適切な役割分担や住自協依頼業務の量や質を見直し、担い手不足対策なども検討していきます。

「緑の募金」見直し 全戸募集から支所募金箱に

緑の募金が変わります。例年5月全戸にお願いしていましたが、今年度から支所窓口にした募金箱での募集となります。尚、令和6年度から国の森林環境税として納税者1人当たり年間1,000円が徴収されます。

能登半島地震災害義援金 日赤長野支部に送金

令和6年元旦の石川県能登地方を震源とする震度7の地震は、能登半島に甚大な被害を及ぼし富山県や新潟県にも大きな被害をもたらしました。小田切地区住自協は区長会を通じ全戸に募金をお願いし、事務所や各会議などでも募金箱を置き3月末でまとめ、寄せられた義援金は226,000円でした。

令和5年度9地区合同成人式 「二十歳の門出を祝う成人式」

1月7日
芸術館



9地区7公民館の合同成人式が行われ、小田切地区は西部中学校区の2名で、裾花中学校区はいませんでした。住自協から今年も地元の工房「框」製はがきサイズ写真立てを贈りました。

今年より名称が「二十歳の門出を祝う成人式」に変わり、これは成人年齢が令和4年4月から18歳に下がったことによるものです。

令和5年度小田切住自協の活動記録 DVD作製

住自協の令和5年度活動記録をINC長野ケーブルテレビに依頼しDVDに収めました。内容は巡礼桜観桜会、長沼小わらび狩り、県立美術館「小田切八景切り絵展」、第3回小田切夏まつり、第1回スマイルボウリング大会、第4回小田切地区社会福祉大会で約30分の記録です。

お互助っ人協力会員情報交換会



1/31

お達者教室



2/14



土砂崩落 入山小市線通行止め（二ツ石四辻250m先）



2/16~4/25

福祉委員会「福祉活動報告」まとめ



3/7

長野翔和学園10周年記念イベント



3/9

巡礼桜満開



4/13

観桜会4/16

やまびこ

小田切小学校が開校してちょうど150年、その小学校が閉校して27年が経ち早い流れを感じる。今年は昭和99年、電話もチャンネルも回していた時代が懐かしい。来年が昭和100年となり記念式典でもあるのでしょうか。そんな近年の雪、早い時期から春先の重い湿った雪が降るようで、除雪機を使うより手でかいた方が早いと思う時が多くなったと感じている。